

◆空き家の積極的活用を 空き家について考えるセミナーが13日、秋田市上北手の遊学舎で開かれ、市民ら約30人が参加した。NPO法人住まい安心サポート秋田(佐々木義文理事長)の主催。

佐々木理事長は、本県の8戸に1戸が空き家になっていると説明。持ち家率が高い本県では、人口減少により、さらに空き家が増えると指摘した。「どんな建物でも劣化していく。利活用が重要になる」と話した。金子地所(秋田市)の金子敬司代表取締役は、建物が空き家となっている土地の取引について説明した。取引の際は、地下の埋設物などの隠れた欠陥に注意が必要だと強調。「取引後に問題にならないよう、きちんと調べて説明する必要がある」と述べた。

セミナーではこのほか、住宅のメンテナンスの注意点や空き家の取引事例についての説明もあった。

(斉藤慎太郎)